

フィールドシンポジウム in 櫛田川 7/25 (月) @三重

応用生態工学会名古屋

1. 概要

応用生態工学会名古屋では、応用生態工学会会員（賛助会員・個人会員）及び一般の方々（非会員）を対象に、環境について語り合う「フィールドシンポジウム」を企画しました。フィールドシンポジウムは、櫛田川（三重県）の現地見学と話題提供者を中心にした意見交換を行うものです。多くの方々のご参加を期待しています。

2. 企画主旨

櫛田川は、大アユの産地として名高い香肌峡を始めとする良好な漁場を多く有し、近代には大正天皇に献上した記録も残るなど、かつてアユ漁で有名な河川でした。また、その氾濫原には、古代から中世後期にかけて整備された条里制の水田が今も残存し、中流から分派する祓川やそれに連なる用排兼用灌漑水路などを含めた氾濫原水域の連続性が残されています。しかし近年では、様々な理由により、水域連続性の維持において課題を抱えています。こうした事情に鑑み、国土交通省やその他管理者、および地域住民の参加などにより櫛田川の縦断的連続性や、堤内地の用水路に於ける魚類生息環境の保全・再生に向けた取り組みとして、地域と連携した環境保全活動に努め、関係機関との調整や検討を進めていく「櫛田川自然再生計画書」に基づき設立された「櫛田川自然再生推進会議」により地域との活動が進められています。

今回企画するフィールドシンポジウムでは、櫛田川の現状や自然再生事業の実施状況などを現地見学を踏まえて意見交換することで、参加者の環境に対する興味の高揚・共有を図ります。

3. シンポジウムの日程等

(1) 開催日

平成 28 年 7 月 25 日 (月) ※少雨決行

(2) 全体工程 ※今後行程内容に変更の可能性があります

9:00 ～ 12:00 現地見学（櫛田川下流自然再生事業箇所と氾濫原、関連施設など）

13:00 ～ 16:00 シンポジウム（話題提供、総合討論）

(3) 開催場所・集合時間等

1) 終日参加の場合

集合場所：JR 松阪駅（近鉄松阪駅）近鉄口（海側）

集合時間：8:30

移動手段：貸切バス

参加人数：定員約 40 名

参加費用：500 円（交通費、バス乗車時保険費等）

持ち物：弁当、飲み物（必須）、長靴（路面状態が悪い箇所を歩く場合があります）



終日参加される方の集合場所 (8:30 集合)

2) シンポジウムのみ参加の方

集合場所：開催場所に直接お越しください

開催場所：津商工会議所（津市丸之内 29-14 電話 059-228-9141）

開催時間：13:00

話題提供：田代喬（名古屋大学准教授）、北村淳一（三重県総合博物館） ほか

コメンテーター：辻本哲郎（名古屋大学名誉教授）

参加人数：定員約 50 名

参加費用：無料



シンポジウムから参加される方 (13:00)

(4) 参加申込み（事前）

① 申込み方法

「現地見学・シンポジウム参加申込」と題して、氏名・年齢・住所・連絡先（電話・FAX または E-mail アドレス）・終日参加／現地見学のみ参加の別 を記した FAX または E-mail を下記の連絡先までお送りください（書式自由）。

名古屋大学大学院工学研究科
社会基盤工学専攻水工学講座（担当：尾花）
TEL:052-789-4628, FAX:052-789-3727
E-mail:d42882a@cc.nagoya-u.ac.jp

※シンポジウムのみ参加の方は事前の参加申込みは必要ありません。

※氏名以外の個人情報は、バス乗車時の保険を掛ける際に必要です。忘れずをお願いします。なお、個人情報は上記以外に使用しないほか、事後に消去します。

② 申込み期限

平成 28 年 7 月 15 日（金）

※定員になり次第締め切る場合があります

(5) 注意事項

- ・現地見学から参加される方は動きやすい服装・履物でご参加ください。
- ・交通事情等により時間が前後する可能性があります。
- ・天候や現地の状態により、現地見学を中止する可能性があります。開催の有無については下記問い合わせ先にご連絡下さい。

(6) その他（問合せ先）

本会の詳細、現地見学会の開催の有無、その他事前問い合わせ

連絡先 メール：sekine@ctie.co.jp（建設技術研究所 関根）

電 話：080-1022-5089（関根）

以上